

START 運営委員会（第一回 4TF 合同）議事要旨

開催日時：2024 年 4 月 18 日（木）15:00～16:00

開催場所：オンライン

参加 TF：売買制度 TF、清算決済制度 TF、取扱制度 TF、システム TF

出席企業：

いちご投資顧問株式会社
株式会社 S M B C 信託銀行
S M B C 日興証券株式会社
株式会社 S B I 証券
ケネディクス株式会社
大和証券株式会社
野村証券株式会社
株式会社 BOOSTRY
株式会社 Progmatt
みずほ信託銀行株式会社
三菱 U F J 信託銀行株式会社

議事要旨

- START 運営事務局より資料に基づき、検討の前提・スケジュール、及び社債検討課題の概要について説明。
- 主な御意見等
 1. 利子支払日前の売買停止について
 - 売買取引量にもよるが、システム対応の可否についての検討が必要。
 - 実務上の検討に加え、社債要綱、契約約款、法律上の整理検討も必要。
 - 既発行の商品は利払日の 4 営業日前から売買を止めているので、振替債のような対応が現状は難しい。
 2. 償還日前の売買停止について
 - 償還については財務代理人である銀行の業務も鑑みた検討が必要。
 3. 質権等の設定について
 - 原則、質権等の設定はできないとすることで良いのではないか。
 - 質権等の設定の可否判断の観点として、質権に差し入れることのメリットの有無の検討も必要。
 4. 社債 ST の事務処理に係る関係者間の契約等の標準化
 5. 社債 ST の銘柄コードの取扱い
 - S B I 証券による証券会社 4 社での事前協議では、基本的にシステムに影響を及ぼさない運用であれば公社債コード附番を許容したい。
 6. 社債 ST の契約締結前書面の標準化

- 先物価格等の公表タイミングの観点から、板寄せ実施時間（11 時半・15 時）を再考できないか。
 - 日証協の参考様式としての公表を目指す可能性も探って欲しい。
-
- START 運営事務局より、照会事項の各社の社内での検討を依頼し、次回タスクフォースの実施時期を説明。

以上